

小雨の中でも 元気で笑顔一杯の わいわいストリート！

5月5日のこどもの日に、しあわせの村・芝生広場で、「わいわいストリート」が開催され、700人を超す家族連れが楽しい一日を過ごしました。

あいにくの小雨の中でしたが、開始時刻の10時30分には、子どもたちが受付に並んでいました。

芝生広場には、4つのサークルとくわ>本部と（スタッフ総勢120人）によるブースが並び、子どもたちは各ブースを順番に回り大喜びでした。

<むかしあそび研究会>のテントは、あやとり、折り紙、お手玉、かざぐるま、はねかえる、コマまわし、竹馬、けん玉、紙トンボなどです。

コマまわしでは、教えてもらってコマまわしができ



るようになった二人の女の子と男の子の三人が勝負をしていて、「勝った」と歓声が上がっていました。

<うらしまたろう>のテントは、動物風船、皿まわしです。スタッフに作って貰った風船を手嬉しく嬉しそうに子ども達、皿まわしでは、何度も何度も挑戦しては、「回った」と大喜びでした。



<木工グループ>のテントは、汽車、自動車、カバなどの動物の工作です。

スタッフの助けを借りながら、型紙を使用した線引き、糸ノコでの板の切断、組立、色塗りに、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいます。



<ケナフの会>のテントでは、押し花を使った紙すきが行われており、親子三代で仲良く楽しむ姿にほほえましく感じました。



広場の中央では、くわ>本部スタッフによる輪投げとカーリングを、多くの子どもたちが順番に楽しんでいました。

今回から取り入れたカーリングでは、子どもたちは興味津々で戸惑いながらもチャレンジしていました。なかなか得点が取れない中、最高得点は15点で大きな拍手が起きていました。



小雨が降り続いたため、小学生以下の有料入場者数は204名でしたが、参加した子どもたちにとっては待ち時間がなく多くの遊びにチャレンジ出来、満足して笑顔が一杯でした。

担当理事、各サークル代表は「天候が悪く残念でしたが、それでも200名を超える子どもたちに楽しんでもらった。子どもたちの楽しんでいる姿や笑顔にこちらも多くのエネルギーをもらった」と話していました。

(広報:岡本紘一)